

公 民 [現代社会 倫理 政治・経済] (100点 60分)

この問題冊子には、「現代社会」「倫理」「政治・経済」の3科目を掲載しています。解答する科目を間違えないよう選択しなさい。

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この注意事項は、問題冊子の裏表紙にも続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。
- 3 出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

出 題 科 目	ペ ー ジ	選 択 方 法
現 代 社 会	4～33	左の3科目のうちから1科目を選択し、解答しなさい。
倫 理	34～61	
政 治・経 済	62～88	

- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。

① 受験番号欄

受験番号(数字及び英字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

② 氏名欄、試験場コード欄

氏名・フリガナ及び試験場コード(数字)を記入しなさい。

③ 解答科目欄

解答する科目を一つ選び、科目の下の○にマークしなさい。マークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。

裏表紙に続く。

- 6 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

解答番号	解 答 欄
1 0	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

- 7 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 8 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

倫 理

(解答番号 ~)

第1問 次の文章を読み、下の問い(問1～3)に答えよ。(配点 8)

倫理は、人間としての生き方に深く関わっており、㉔人間のこころを科学的に扱う心理学と無縁ではない。古くからこころは哲学的な考察の対象とされていたが、実証に基づく科学としての心理学は、19世紀に登場した。当時の心理学者たちは、こころを内観することによって意識を捉えようとした。意識をめぐって科学としての心理学が確立したのである。

これに対して、フロイトは、本人の意識していない欲求・葛藤・願望が、人のこころや行動に影響を与えていると考え、心理学に㉕無意識の概念を導入した。その考え方は、ユングらの様々な理論に影響を与えた。

しかし、すべてを無意識のせいにするのは科学的ではないとして、観察可能な行動のみを取り扱おうとする行動主義の動きが起こった。

こうした流れをふまえて、現在の心理学では、行動を記録するなど方法論上の細かい工夫を通して、意識を捉え直すことが活発に行われている。㉖悩みの解決を援助するカウンセリングは、様々な心理学の応用の一例であり、倫理に求められている課題を具体的に実践しているものと言える。

問 1 下線部②に関連して、現在の心理学の目標を次のア～オの五つに分ける考え方がある。このうちア、イ、オと、生活上の経験に関する事項A～Eとの組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 1

- ア 人間に生じたことの記述
- イ 人間に生じたことの説明
- ウ 人間に生じることの予測
- エ 人間に生じることの制御
- オ 人間に生じることを変えることによる生活の質の改善

- A 交通違反をした者に対して点数減点制度を導入し、規定点数以下になったら免許停止とする。
- B 各曜日1時間ごとに周辺の交通量調査を行い、これから行う工事の期間中の渋滞状況を考える。
- C 公園内のどの遊具で子どもたちが遊んでいるかを調べるために、それぞれの遊具について一定時間内での利用回数を測定する。
- D 様々な原因で欲求不満になったとき、スポーツなどで発散することを昇華と名づけて理解する。
- E 電車の乗降で混雑する駅で乗客の流れがスムーズになるように、混雑時に専用通路を設ける。

- ① アーC イーD オーE
- ② アーD イーB オーA
- ③ アーE イーB オーC
- ④ アーD イーA オーB

倫 理

問 2 下線部①に関して、フロイトが考えた無意識が現れる例として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 複雑な感情を抱いている相手の名前を、言い間違えてしまう。
- ② もう一度行きたいと思っている場所に、忘れ物をしてしまう。
- ③ 朝日が昇るのを見ると、^{だれ}誰もが荘厳な感じを抱いてしまう。
- ④ 気掛かりなことがあると、何かに追いかけられる夢を見てしまう。

問 3 下線部㉔に関して、相容れない動機あいまいの板挟みとなるとき悩みが生じることがある。次の動機の対立ア～エと、具体例 A～D との組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 3

- ア 自立 対 依存
 イ 親密 対 孤独
 ウ 協力 対 競争
 エ 衝動的表出 対 道徳的基準

- A 親友の身の上話を聞いているうちについ感情的になり、途中で席を立ってしまったが、終わりまで冷静に聞く必要があったと後から考え、悩む。
 B 昼休みに友人の話の輪に加わり仲良くしたいと思うが、一人で好きな本を読みながらリラックスしたいとも思い、悩む。
 C 難しい数学の問題が宿題に出て、独力で解くのが望ましいとは思いますが、勉強ができる友人に答えを聞く方が簡単であるとも思い、悩む。
 D テストの直前に、自分が苦勞してまとめたノートを見せてくれとライバル関係にある友人に頼まれて、断ろうかどうかを考え、悩む。

- ① アーC イーA ウーD エーB
 ② アーB イーA ウーD エーC
 ③ アーD イーB ウーC エーA
 ④ アーC イーB ウーD エーA

倫理

第2問 次の文章を読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(配点 24)

「怒りを歌え、女神よ、ペレウスの子アキレウスの」。これは **4** の『イリアス』冒頭を飾る言葉である。人類最古の叙事詩の一つが「怒り」を主題とすることは、この感情が人間にとっていかに重要であることを暗示している。ここでは、先哲たちの声に耳を傾けて、怒りが倫理的観点からどのように捉えられてきたかを考えてみよう。

仏教の開祖^㉑ ゴータマ=ブッダは「怒りを捨てよ。慢心を除き去れ」と語り、解脱を求める者は怒りを捨て去るべきことを説いた。ストア派も、『怒りについて』の著者 **5** を始め、怒りなどの感情を理性によって除去する点に徳の成立を認めている。個人の静穏な生活を重んじるこれら二つの思想は、魂の平安をかき乱すという理由で、怒りに否定的評価を下している。

他方、怒りそれ自体を悪としない見方も存在する。プラトンの魂の三部分説によると、怒りの座たる **A** 的部分は、適切な教育を受け、**B** 的部分の指導に従えば、徳ある行為に役立つとされる。^㉒ アリストテレスは「穏和」の徳を怒りに関する中庸と定義し、適切な仕方では怒る人は賞賛に値すると語る。彼は、怒りを他人からの不当な軽蔑けいべつや不正への仕返しし返しの欲求と捉え、怒りの発し方が適切かどうかを社会規範に照らして判断する思慮の働きに注目した。また、^㉓ 儒家の書『中庸』でも、怒りなどの感情が節度になかった形で他人に向けて発せられるときには、正しいあり方として肯定された。このように怒りは、対人関係という局面において、思慮深く適正に発せられる場合、高く評価される。

さらに、社会全体に向けられた怒りを重視する宗教的伝統もある。^㉔ 旧約聖書によれば、神ヤハウェ(ヤーウェ)は、共同体を保護するための律法をイスラエルの民に与える「愛の神」であるが、民が律法を破るとき、厳しく罰する「怒りの神」となる。預言者たちは人々に神の怒りを伝え、社会のあり方を問うた。同様に、クルアーン(コーラン)によれば、^㉕ アッラーは慈悲の神であると同時に、その命令に背く者たちには怒りを示す正義の神でもある。こうした神の怒りは、人々に畏怖いふの念を呼び起こし、彼らが社会のあり方を省みるきっかけとなった。

以上のように、先哲たちは、それぞれが直面していた状況の中で、「怒り」を吟

味・考察し、異なる声を響かせている。怒りの多様な理解に耳を澄ませば、怒りがどのような場面で問題となるかに注意することが大切だと分かるだろう。

問 1 文章中の ・ に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。

{ ① エンペドクレス ② ソフォクレス
 ③ ヘシオドス ④ ホメロス

{ ① アウグスティヌス ② エピクロス
 ③ セネカ ④ プロティノス

問 2 下線部②に関して、ゴータマ=ブッダの解脱観の記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 人は、苦の原因を認識し執着から離れることによって解脱できる。
- ② 人は、自分の中に永遠的要素を見出すことみいだによって解脱できる。
- ③ 人は、身体的な苦行を積み重ねることによって解脱できる。
- ④ 人は、不可知なるものの存在を認めることによって解脱できる。

問 3 文章中の ・ に入れるのに最も適当な組合せを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

- ① A 理性 B 気概 ② A 理性 B 欲望
- ③ A 気概 B 理性 ④ A 気概 B 欲望
- ⑤ A 欲望 B 理性 ⑥ A 欲望 B 気概

倫 理

問 4 下線部①に関して、アリストテレスが用いている中庸の例の記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

8

- ① 恐れるべきものとそうでないものを正しく判断できるように知的訓練を積むことで、勇気のある人になる。
- ② 金銭や財に関して、必要以上に惜しんだり浪費したりしないよう習慣づけることで、おおらかな人になる。
- ③ 神の知をもっていないと自覚することで、最大の無知から解放され、人間にふさわしい知恵を得ることができる。
- ④ 極端な快楽と極端な禁欲を避けながら、静かな修道生活を送ることで、心の平安を得ることができる。

問 5 下線部③に関連して、孟子の思想の記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

9

- ① 王は民衆の仁義礼智を当てにせず、武力によって世の中を治めるべきだとする王道思想を説いた。
- ② 人間の本質は善であるので、王は徳によって民衆を平等に愛するべきだとする兼愛思想を説いた。
- ③ 王が徳に反する政治を行うなら、民衆の支持を失い、天命が別の者に移るといふ易姓革命を唱えた。
- ④ 浩然の気に満ちた大丈夫が王となって、民衆の幸福の実現を目指すといふ霸道政治を唱えた。

問 6 下線部㉑に関して、この聖書を基に展開していったキリスト教における神と人間についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 10

- ① 人間は、神の定めた安息日や食事の規定などの戒めを厳しく遵守する律法主義によってのみ、神の怒りをなだめることができる。
- ② 神は万物と等しくあり、万物の中に入り込んでいるので、人間の喜怒哀楽の感情も神の現れである。
- ③ 神の慈悲に促された人間は、他の人々を救済することを誓い、一人でも救済されない間は自ら救われることはない^と決意している。
- ④ 人間は神による被造物であり、愛の神が遣わした救世主(メシア)を信じることによって救済される。

問 7 下線部㉒に関連して、イスラームについての記述として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 11

- ① アッラーへの内面的信仰が何よりも大切であり、日常生活に^{かか}関わる法は重要でないと考えられている。
- ② アッラーへの信仰に基づく共同体ウンマが重視され、その中に生きるイスラーム教徒たちは神の前に平等だと考えられている。
- ③ アッラーはユダヤ教・キリスト教の神と同一であり、モーセやイエスを預言者として遣わしたと考えられている。
- ④ アッラーへの信仰を異教徒から守るためにジハードを行うことが義務であり、十字軍への対応もその一例と考えられている。

倫 理

問 8 本文の内容に合致する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 12

- ① 怒りは、平穏な生活を脅かすものと判断される場合は、理性による抑制を必要とするが、^あ悪しき社会に対して信仰深い人々から発せられる場合は、社会を改善することに役立つため、肯定的な評価を受ける。
- ② 怒りは、他者に向けて発せられる場合は、それだけでは善でも悪でもなく、分別の有無で賞賛されたり非難されたりするが、信仰ある人々に超越的な裁きとして現れる場合は、社会の不正をただす契機となりうる。
- ③ 怒りは、社会に向けられる場合は、その一体感を破壊するため、つねに除去されるべきだが、個人の内面にとどまる限り、理性と対立しても実害は少なく、むしろ人間の成長を促進するものとして尊重される。
- ④ 怒りは、共同生活が重視される場合は、憎悪や不正を生み出すものとして非難されるが、人間関係の機微に通じた賢者が発するときには、規範になった正当な報復であるため、例外的に認められ賞賛される。

(下書き用紙)

倫理の試験問題は次に続く。

倫理

第3問 次の文章を読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(配点 24)

日本人は、伝統的に「和」を重んじてきた。「和」とは一般的に、人々が反目なく調和している状態、あるいは個人の意向よりも集団の調和を優先させる態度と理解されている。しかし、「和」は、単なる調和を意味しているのではなく、人間の本質や他者に対する深い認識をも内包していると思われる。

㉑ 聖徳太子は「十七条憲法(憲法十七条)」を制定し、「和」を何よりも尊重したと言われている。㉒ 「和をもって貴しとし」という言葉は、日本人の共同体の根本精神を表明したものとして、現代でも取り上げられることが多い。しかし、聖徳太子は、衝突したり対立したりする人間の本質を認識していたからこそ、独断や争いをしりぞけながら他者と議論することの必要性を説いたのであった。

儒教を積極的に受容した江戸時代、儒教の立場から「和」の問題を思索した人々があった。例えば、伊藤仁斎は、人と人との理想的な和合である仁を実現するためには、他者に対する が必要であると説いた。仁斎は、人間の気質が同じでなく、好みも多様であることを認識していたからこそ、寛大な心をもって他者に接する必要性を説いた。また、荻生徂徠は、「和」とは規範におだやかに従うことだと解釈した。徂徠は、人間の性質が多様で、分裂や対立を避けることができないゆえに、天下を安んずるために立てられた に従って、お互いに助け合いながら生活しなければならないと説いた。彼らは、人間の本性の同一性を強調する㉓ 朱子の人間観を批判し、人間一人ひとりの差異を認識し、対立しやすい人間同士がどうすれば平和な社会生活を送ることができるかを思索した思想家であった。

近代になると㉔ 西洋思想と格闘する思想家が現れた。その一人である㉕ 和辻哲郎は、西洋と東洋の両文化に対する深い理解をふまえて、「和」の問題に新たな照明を当てた。和辻は人間を「間柄的存在」と規定し、人と人との「共同態的」あり方に注目した。これは、共同生活を尊ぶ日本人の伝統的な「和」を再評価したものと言われている。しかし、和辻は、 の大切さを強調したのであった。

こうして日本人の「和」の思想を再検討してみると、「和」とは個々人が努力した末に達成されるものであることに気づかされる。「和して同ぜず」というように、私たちは安易に集団に同調するのではなく、分裂や対立を乗り越えながら、どうすれば異なった意見や価値観をもつ他者と共存できるかを思索すべきではないだろうか。

問 1 文章中の ・ に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。

① 愛敬 ② 忠信 ③ 慈悲 ④ 義理

{ ① 夫子の道 ② 先王の道
③ 惟神の道 ④ 武士の道

問 2 下線部②に関して、聖徳太子の事跡と伝えられていることとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 無量寿経・観無量寿経・阿弥陀経の注釈書である『三経義疏』を著した。
- ② 儒教や道教よりも仏教が優れていることを説く『三教指帰』を著した。
- ③ 現世を汚れた世界とみなす「厭離穢土，欣求浄土」という言葉を残した。
- ④ 現世をはかないものとする「世間虚仮，唯仏是真」という言葉を残した。

倫 理

問 3 下線部⑤に関して、「十七条憲法」第一条の全文は次のとおりである。この条文の趣旨に合致する記述として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 16

「和をもって貴しとし、^{さから}忤う^{*}(1)ことなきを宗^{むね}とせよ。人みな^{たむら}党^{*}(2)あり。また^{さと}達れる者^さ少なし。ここをもって、あるいは君父^{したが}に順^{したが}わず。また隣里^{たが}に違^{たが}う。しかれども、^{かみやわ}上和らぎ、^{しもむつ}下睦びて、事を、^{あげつら}論^{*}(3)に^{かな}諧^{*}(4)うときは、^{じり}事理^{じり}おのずから通^{じり}ず。何事か成らざらん。」

- *① 忤う：反対する，対立する
- *② 党：集団，派閥
- *③ 論う：議論する，話し合う
- *④ 諧う：調和する

- ① 利害にこだわって他者と衝突するのではなく、親和的関係を結んだうえで話し合いを続けることの大切さを強調している。
- ② みんなの意見が一致することを目指して、慎重に妥協点を探りながら話し合いができる達観者になることを勧めている。
- ③ 他者との対立を回避するために、大局的な立場から自然に道理が通じるような状況を作り出すことの大切さを訴えている。
- ④ むやみに反対意見を出すのではなく、相手の意見を尊重し集団の意向に同調できるような人格者になることを論じている。

問 4 下線部㉓に関連して、儒教的な古典解釈を批判した国学者の一人に契沖がいる。契沖に関する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 17

- ① 日本人の心を伝える文献である『万葉集』の研究に取り組み、『万葉代匠記』を著して、古代日本人の精神を学ぶべきだと主張した。
- ② 『万葉集』の研究によって、日本人の心の典型としての「ますらをぶり」を発見し、儒教や仏教が入る以前の古代精神を復活させようとした。
- ③ 『万葉集』や『古事記』などの古典研究の基礎を築き、古語の本来の意味である古義を明らかにしようとする復古神道を開いた。
- ④ 『古事記』などの研究に基づいて『霊能真柱』などを著して、儒教や仏教を強く批判して独自の復古神道を広めた。

問 5 下線部㉔に関して、日本の代表的なキリスト教思想家に内村鑑三がいる。内村の思想に関する説明として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 18

- ① 英文で『武士道』を著して日本人の道徳を欧米に紹介し、自らのキリスト教を「武士道に接木されたるキリスト教」とであると説いた。
- ② イエスと日本は矛盾するものではなく、近代化の中で混迷する日本人の精神的再生のために、イエスへの純粋な内面的信仰の大切さを説いた。
- ③ 人間は、神の前に独り立つ存在であり、教会や儀式に囚われず、直接聖書を読むことに基づく信仰を重んじるべきであると説いた。
- ④ 日本は純粋な信仰が行われ信義を重んじる国であり、拝金主義や人種差別が蔓延する外国よりも、真のキリスト教が根づく国であると説いた。

倫 理

問 6 下線部㉔に関して、和辻の代表的著作の一つに『風土』がある。和辻はその中で自然環境と深い^{かか}関わりをもつ人間の存在や文化のあり方を「風土」と^{とら}捉え、三つに分類しているが、その分類として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 19

- ① 大陸型・半島型・^{とうしよ}島嶼型
- ② 熱帯型・温帯型・寒帯型
- ③ アジア型・ヨーロッパ型・アフリカ型
- ④ モンスーン型・^{さばく}沙漠型・牧場型

問 7 文章中の A に入れるのに最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① 人間を束縛がなければ生きられない存在と認識し、共同体の中に生きる普通の人々に真の人間の生き方を見出^{みいだ}そうとする意志的な努力
- ② 人間が主体性を追求して近代的自我を確立することを訴えるとともに、自我がもつ排他性やエゴイズムを克服しようとする専心的な努力
- ③ 人間同士の多様な関係を統一・分離・結合という動的な連関と捉え、社会と個人との対立的な統一を実現しようとする実践的な努力
- ④ 人間は誰^{だれ}でも各自の人格の陶冶^{とうや}によって個性を発揮させなければならないと考え、社会や人類の発展に寄与しようとする継続的な努力

問 8 本文の趣旨に合致する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 21

- ① 日本の先哲が思索してきた「和」とは、対立しやすい人間の本質をきちんとふまえ、協調点への迅速な到達を目指して積極的に他者に同調するような考え方である。
- ② 日本の先哲が思索してきた「和」とは、他者と意見が対立したときには集団に同調することを優先させ、むやみに自己の意見に拘泥しないような考え方である。
- ③ 日本の先哲が思索してきた「和」とは、他者への安易な同調を促すものではなく、意見の異なる他者ときちんと議論ができる関係を築こうとするような考え方である。
- ④ 日本の先哲が思索してきた「和」とは、異なった価値観をもつ他者であっても対立しないように説得に努め、自己の意見への同調を促すような考え方である。

倫理

第4問 次の文章を読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(配点 24)

法律はつねに正しいとは限らない。「悪法も法なり」という言葉はそのことを示している。では、法律の正当性はどのような観点から吟味されてきたのだろうか。

ヨーロッパには古来、慣習法や実定法といった法律を自然法に照らして吟味する、という考え方があった。自然法は、法律とは異なり、時代や地域で変わることのない普遍的な法であり、中世には、神の法が人間に示されたものだと理解されていた。しかし④近代に入ると、自然法は次第に、神の意志とは独立に考えられるようになっていった。自然法は人間の本性である 22 や社会性に、あるいは自己保存の欲求に基づくとみなされたのである。例えば「近代自然法の父」グロティウスは、民族を超えて通用する人類共通の法を探究し、23 を説いている。

このような自然法をカントは、広い意味での道徳であると捉え、法律からも、狭い意味での道徳からも区別した。⑤狭い意味での道徳は、内面の善だけを問題とする。それゆえ、例えば法律で処罰することによって、道徳的行為を強制することはできない。これに対して自然法は、⑥万人が承認せざるをえない自然権を基礎づけるものであり、法律の正当性を吟味する根拠になる、と考えたのである。

その後ヘーゲルは、こうしたカントの主観的・内的な道徳性に重きをおく考え方を批判し、さらには近代自然法思想をも批判していく。人間のあり方は⑦人倫に基づいて考えるべきであり、それゆえ法律の正当性も、人倫における人間の自由の実現を基準にして吟味される、と主張するのである。

他方、ほぼ同時代に生きたベンサムは、⑧近代自然法思想は独断的だと批判し、功利主義を唱えた。彼によれば、快樂計算に従って最大の幸福をもたらすことこそが道徳にかなっている。そして法律の正当性は、功利の原理の観点から吟味されるべきであり、法律に違反した者には、⑨制裁(サンクション)が加えられねばならないのである。

以上のように、グロティウスやカントの自然法思想、ヘーゲルの人倫思想、ベンサムの功利主義はそれぞれ、法律の正当性を吟味し、批判する観点を与えてくれる。私たちは法律に基づく社会に生きているのだから、こうした不断の吟味や批判は欠かせない営みであると言える。

問 1 文章中の ・ に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。

① 理性 ② 感性 ③ 言語 ④ 意志

① 民主主義 ② 国際平和 ③ 絶対主義 ④ 世界精神

問 2 下線部③に関連して、近代自然法思想が登場する時代の特徴として、自然や宇宙についての見方が大きく変わったことがあげられる。近代における自然観や宇宙観についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 地球は宇宙の中心にあって、諸天体がその周りを回転していると考えられていたが、近代になるとピコ＝デラ＝ミランドラが、地球を始めとする惑星が太陽の周囲を回転しているという地動説を説いた。
- ② 宇宙は神が創造した有限な全体であると考えられていたが、近代になるとレオナルド＝ダ＝ヴィンチが、宇宙は無限に広がっていて、そこには太陽系のような世界が無数にあるという考え方を説いた。
- ③ アリストテレスによる目的論的自然観が支配的であったが、近代になるとケプラーが惑星の運動法則を、ニュートンが万有引力の法則を発見し、ともに自然には数量的な法則性があると説いた。
- ④ 錬金術師たちが自然について試行錯誤的に魔術的な実験を行っていたが、近代になるとデカルトが、実験・観察による帰納的な方法を用いて自然についての知識を得ることで、自然を支配できると説いた。

倫 理

問 3 下線部⑥についてのカントの思想として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 25

- ① 「私は何を知るか」をモットーとして、懐疑の精神をもって謙虚に自己吟味を行う。
- ② 生への「盲目的意志」が苦悩を生み出すという認識によって、この苦悩から脱する。
- ③ 人格には絶対的な価値があるのだから、自分と他人の人格を目的として尊重する。
- ④ 他人の幸福や不幸に対して人間が自然にもつ、共感・同情という道德感情に従う。

問 4 下線部㉔に関連して、生命の権利も自然権の一つであると考えられている。「生命への畏敬^{いけい}」を道德の根本原理とし、人間の生命ばかりかあらゆる生物の生命を守れと説いた思想家として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① シュヴァイツァー
- ② ルソー
- ③ キルケゴール
- ④ サルトル

問 5 下線部㉑に関して、ヘーゲルの思想として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① 婚姻は男女両性の間の法的な契約であるから、男女の愛情における本質的要素ではない。
- ② 市民社会は、法によって成り立つとしても、経済的には市民たちの欲望がうずまく無秩序状態である。
- ③ 国家は、市民社会的な個人の自立性と、家族がもつ共同性とがともに生かされた共同体である。
- ④ 世界共和国のもとでの永遠平和は、戦争はあってはならないという道徳的命命による努力目標である。

問 6 下線部㉒に関連して、自然法を批判する立場には実証主義がある。知識について実証主義的な主張をするスペンサーの思想として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 28

- ① 真の知識は自然をありのままに観察することによって得られるのだから、我々の観察をゆがめる先入見や偏見を排除しなければならない。
- ② 真の知識は疑うことのできないものであるから、「われ思う、ゆえにわれあり」という絶対に疑いえない真理によって学問的知識は成り立つ。
- ③ 人間の知識には三つの発展段階があり、このうち学問と呼びうるのは、経験的事実に即して諸現象の法則を探究する最高の段階だけである。
- ④ 科学によって知識の総合を目指すべきであり、生物学にみる進化の考え方を応用することで、人間社会についても科学的知識を得ることができる。

倫理

問 7 下線部①についてのベンサム思想として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① 人々の生命・自由・財産を適切に維持するためには、各人は私的な制裁権を公共の政治的権力に委託しなければならない。
- ② 人間はもともと利他的であるから、刑罰による法律的な制裁よりも、良心に訴える内的な制裁の方が重要である。
- ③ 人間に対して与えられる制裁は様々であるが、神による死後の裁きという宗教的な制裁が最も重要である。
- ④ 公益をそこなう行為をした者に対しては、その行為によって得た利益を上回る不利益を与えるような制裁を加えねばならない。

問 8 法律に関する主張のうち、本文の趣旨に合致する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① 法律だけでは、人間は外面的に道徳的になるにすぎない。したがって、人間が内面的にも道徳的になるためには、法律に無批判に従うのではなく、自然法思想や人倫思想や功利主義などに従うことが必要である。
- ② 法律に従うだけでは、法律そのものの善し悪しを吟味できない。したがって、法律を吟味するためには、法律から距離をとって自然法思想や人倫思想や功利主義などの視点に立つことが必要である。
- ③ 法律は現実的なものであり、理想とは無縁である。したがって、理想的な国家を構想するためには、自然法思想や人倫思想や功利主義などの視点から、法律の善し悪しを吟味することが必要である。
- ④ これまでの法律は、社会固有の文化や歴史に影響を受けつつ成立してきた。したがって、国際化した時代に対応するためには、自然法思想や人倫思想や功利主義などの視点で法律を作成し直すことが必要である。

(下書き用紙)

倫理の試験問題は次に続く。

倫理

第5問

私たちは今、民主社会に生きている。そこでは、私たち一人ひとりが自由で平等な存在であることが、「基本的人権」として法的にも保障されている。しかし、歴史を顧みれば、自由で平等な存在として生きられることは決して当たり前のことではない。歴史の中から生まれてきたものは、いつか歴史の中へと消え去ってしまうこともありうる。民主社会の未来は私たち次第なのである。

では、民主社会の存続を望むならば、私たちにはどのような責務があることになるだろうか。次のA～Cの文章を読み、下の問い(問1～7)に答えよ。(配点 20)

A 私たちは他者とともに生きている。それゆえ、私たちにはまず、㉔互いを自由で平等な個人として尊重することが求められるだろう。いいかえれば、自由でありたい、尊厳をもって平等に処遇されたいという一人ひとりの願いは、みな等しくかなえられる必要がある。したがって、私たちにはまた、㉕民主社会といえどもなお残る差別や不平等をなくし、すべての人が自由で平等な存在として生きられる社会を追求する責務があると言えるだろう。

問1 下線部㉔に関連して、近代市民社会にも潜んでいる「パターナリズム」や「多数者の専制」の危険を指摘した思想家に、J.S. ミルがいる。彼の主張として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

31

- ① 一般意志への服従を拒む人がいるならば、社会契約を口先だけのものにしないうために、社会全体でその人に契約への服従を強制しなければならない。
- ② 政府が人々の生命、自由、財産に対する権力を濫用する場合には、人々はいつでも、政府から権力を取り返し、新しい政府を樹立することができる。
- ③ 政治制度や文化は、人間の生産活動を支えている生産様式に左右されるのだから、社会の変革には生産様式そのものの変革が伴わなければならない。
- ④ 女性が従属的な地位におかれている状況は、現代社会において見過ごすことのできない現象であり、しかも民主社会の根本原理に反した現象である。

問 2 下線部①に関して、現代社会においてもまだ数多くの差別が残っている。こうした差別に対する姿勢として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

32

- ① 差別が続く一因は、日常生活の中に存在する差別に気づいていないことにある。そこで、差別とは何かを考え、身近にある差別から目をそらさないようにする。
- ② 差別が続く一因は、差別の構造を明らかにすることで差別する意識が生まれるところにある。そこで、差別の構造については学び知る機会を設けないようにする。
- ③ 差別が続く一因は、差別を生み出してきた要因や背景が十分に理解されていないことにある。そこで、差別の社会的要因や歴史的背景について学ぶようにする。
- ④ 差別が続く一因は、他者の痛みや苦しみにまで思いが及ばないことにある。そこで、想像力を働かせて、差別すること・されることについて考えるようにする。

倫 理

- B ㉔ 誰もが自分の利益ばかりを追求し、共通のルールもなく、共通の利益も守られないとしたら、社会を維持することはできない。民主社会では、共通のルールや利益は、私たちが平等な立場から、公開の場で自由に討議することを通じて定められ、「公共性」を獲得する。そして民主社会を維持するためには、㉕公共性の観点から個人の自由や平等が制約されることもありうる。それゆえ私たちに、個人の自由・平等と民主社会の両方を守るために、㉖私たち自身で公共性を作り出し、支えると同時に、その内実を不断に問うてゆく責務があると考えられる。

問 3 下線部㉔のような事態は今日、とりわけ環境問題において懸念される場所である。深刻化してゆく環境問題への対応を考えるうえで、ふまえておくべき概念の説明として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- ① 生態系：地球上の生物とその周囲の無機的環境とから作り出される様々な関係の総体としてのシステムを意味し、ピラミッド状を成すその頂点に人間が位置している。
- ② 環境難民：汚染された土地や環境が破壊されてしまった土地に暮らし続けている人々のことで、安全な土地へと移住することができるよう早急に対策を立てる必要がある。
- ③ 世代間倫理：現在どのような行動をとるかによって次の世代の生存が危うくなることもありうるのだから、今生きている世代は生まれてくる世代に対しても責務を負っている。
- ④ 循環型社会：環境のことを考えてリサイクルを積極的に推進する社会のことで、経済や消費の水準をさらに高めながら、同時に環境をも守ろうとする発想に基づいている。

問 4 下線部㉔に関して、「公共性」の観点から要請される立法や行政の施策と、「人権の尊重」を要請する立場とが衝突している事例として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 34

- ① 公立総合病院を改築して高層化する計画が示された。これに対し付近の住民が、日当たりなど住環境が著しく悪化するとして計画の見直しを求めた。
- ② 犯罪捜査のため被疑者の通信が傍受された。これに対し被疑者と通信していた相手が、必要最低限度を超える傍受をされたとして異議を申し立てた。
- ③ 風害対策のため公有地に植林をする計画が立てられた。これに対し付近の住民が、駐車場代わりにしてきた場所がなくなるとして中止を申し入れた。
- ④ 高速道路建設のため私有地を収用する案が公にされた。これに対し所有者たちが、その地を離れては仕事も生活も立ちゆかなくなるとして反対した。

問 5 下線部㉕に関連して、近代日本がなぜ軍国主義と戦争の惨禍に行き着いたのかを問い、戦後の日本に民主社会を確立する道を模索した思想家に、丸山真男がいる。彼が戦後の日本人の課題と考えたことを説明した記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 35

- ① 西洋の哲学と東洋の儒教とを融合させ、世界に通じる普遍的な道徳を日本という個別の場で実現できる、新しい国民道徳を確立しなければならない。
- ② 外来の思想をとって伝統を捨てるのではなく、逆に伝統に固執するのでもない、自己本位の能力に基づいた内発的な開化を推進しなければならない。
- ③ 日本という風土の中で培われてきた文化と歴史を尊重し、日本民族の独自性を守りつつ、西洋の学問・技術の長所を採用していかなければならない。
- ④ 他者を他者として理解し、また自分の中に巣くう偏見につねに反省の目を向けることのできる、自主独立の精神をもつ個を確立しなければならない。

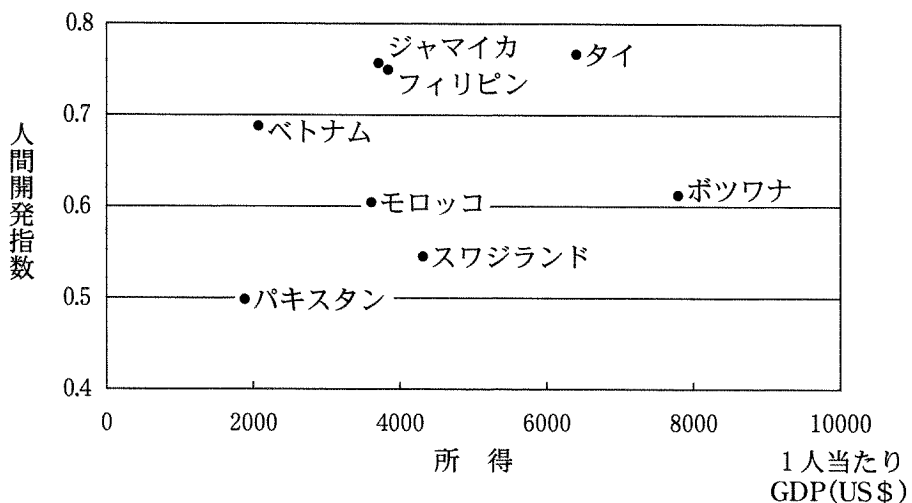
倫理

C このように民主社会は、置物のようにそこに「ある」のではなく、私たちが自由と平等を守る責務を果たすことで、民主社会に「する」のだけとすることができる。しかもその民主社会は、同時に、今や①グローバル化によって世界中と深い相互依存関係で結ばれつつある。だとすると、私たちの自由と平等もその関係の中にあるのだから、国境の外に生きる他者のため、国境を越えて差別や不平等をなくすこと、基本的人権を守ること、そしてそのために国際的な公共性を作り出すこともまた、私たちに引き受けるよう求められている責務、②「地球市民」としての責務だと言えるのではないだろうか。

問 6 下線部①に関して、今日、世界人口の 35 % が極端な貧困にあえぎ、南北間の格差はますます拡大していると言われる。次の図は人間開発指数*と所得の関係を示しているが、この図から読みとれることとして最も適当なものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。 36

*人間開発指数：長命で健康な生活，教育，人間らしい生活水準という人間開発の三つの基本的な側面に関して，一国の平均的達成度を示す測定値。

図 人間開発指数と所得の関係



国連開発計画『人間開発報告書 2003』より作成

- ① 所得水準が高い国ほど人間開発の水準も高い。したがって、長寿と教育を保障するには、所得水準を高めることで十分である。
- ② 所得水準が高くて人間開発の水準は低い国もある。したがって、長寿と教育を保障するには、所得水準を高める必要はない。
- ③ 所得水準が高い国ほど人間開発の水準も高い。したがって、所得の格差を縮小ささえすれば、長寿と教育の格差も縮小できる。
- ④ 所得水準が高くななくても人間開発の水準は高い国がある。したがって、所得水準の高さが長寿と教育を保障するとは限らない。

問 7 下線部㉔に関して、日本国憲法前文にはすでに、「われらは、平和を維持し、専制と隷従^{れいじゆう}、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようとする国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ」とあるが、その現状についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 37

- ① 日本は、世界人権宣言の内容を条約化した国際人権規約に従って人権保障に努めており、規約人権委員会からは是正の勧告を出されたことはない。
- ② 日本は、非人道的な対人地雷の使用・生産・貯蔵を禁止し、廃棄を求める「オタワ条約」を批准し、全面禁止に向けた国際的な動きに貢献している。
- ③ 日本は、発展途上国に対する政府開発援助の規模は小さいものの、環境や住民の暮らしには十分に配慮をしており、他国の手本となっている。
- ④ 日本は、多くの難民を受け入れており、人数の点でも、また難民に保障される最低限の医療・生活支援の点でも、欧米諸国に匹敵するほどである。